

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年3月28日

事業所名 児童発達支援センターはぐはぐ子ども村

保護者等数(児童数)89

回収数57

割合

64%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	53			4	場所が変わり広くなったので、活動が行いやすくなったと思う 見学に行っていないので分かりません。 いくつかのお部屋でいろいろな活動をしてきている	所在地を移転したことによって定員が増えたので、活動の部屋を増やし少人数での落ち着いた活動ができています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	50	1		6	十分な職員の先生と多職種の先生が関わってくれていると思う。 専門家でないので分かりません。 細かいところまで行き届いていると思う。	基準以上の人員を配置している。公認心理師や理学療法士、言語聴覚士などの専門家による定期的な観察・助言をもらい、支援に役立っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	48	1		8	十分な広さがあるため分かりやすく配慮がされていると思う。 見学に行っていないので分かりません。 部屋が区切られているので、この場所は何をすると、ということ認識しやすいと思う	既存の施設を借りての設備なので、トイレなどの修繕は難しいが、スペースの工夫などは常に意識して取り組んでいる。利用児が自分で考えて行動できるようにラインや色分けを利用したり、絵カード等を使って活動の見通しを伝えたりしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	49	1		7	広い空間になったことで活動しやすくなったと思う。 見学に行っていないので分かりません。 部屋の行き来やトイレへは習慣化されているので心地よく過ごせている。	玩具や室内はこまめに消毒と清掃を行っている。活動目的に合わせて間仕切りを活用している。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	55	1		1	親子の思いに寄り添った計画を作っていただいている	個別に計画を見直し、アセスメント、職員間での評価、原案作成、会議で協議してから保護者へお伝えしている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50	2		5	支援計画作成担当者の方へ情報を伝え、子供に応じたプランを作成してもらえてると思う 設問の意味が分からないが、子供の様子を見て、子供に見合った対応(支援)がされていると感じる	それぞれの課題に応じて常に支援の内容を見直し、目的達成に向けて関わっている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	55	1		1	成長に応じてその時点での支援が計画してもらえていると思う。出来なかったことが出来るようになってきている。	朝礼やケース会議で情報を共有し、毎回個別支援計画の内容を確認したうえで療育に入り、療育後は職員間で振り返りを行うようにしている。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	49	2		6	詳しく聞いていないので分からないけれど、きつと工夫してくださっているはず	感覚統合運動の時間、課題の時間、自由遊びと基本3部構成であるが、人との関わりや活動内容などは個別に合わせてたり専門家等からの助言をもらいながら柔軟に活動できるようにしている。サーキットの内容は、定期的に見直しをしている。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	43	1	1	12	保育園に通園しながら、事業所を利用して交流を図ることが出来ている	直接の交流はないがほとんどの子が併用通園を行っているので、普段からいろいろな交流がある。事業所では、コロナ禍で開催できなかったイベントなどを行っていく。

		チェック項目	はい	いいえ ともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	55	1		1	利用する際、注意事項について伝えてもらっている 有難いことに、負担なしで利用させてもらっている	契約の時に説明を行っている。運営規定については施設内にも掲示し、常に手に取って確認できるようにしている。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	57				定期的に説明をしていただいている	お子さんの様子や発達の様子をお話する機会を設けているが、ガイドラインについての説明を増やしていきたい。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	44	3	1	9	連絡をもらったりすることで、子供の様子を知れている 講習会は行われているようですが、まだ参加したことがない	必要に応じて公認心理師がペアレントトレーニングを行っている。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	47	7	1	2	様子を伝えたり、教えてもらったりすることで、共通することが出来ている ⑭の時に聞いています 通所可能な連絡の際、細かなことを教えてください 何かあれば連絡をくださって、こちらが尋ねたいことがあればこまめに対応していただいている	お子さんの体調に異変を感じた時は速やかに連絡を入れるようにしている。コロナ禍で母子通園(参観・懇談)が開けないので、電話やメールなどを利用してお子さんの様子をお知らせするように務めている。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	49	6		2	相談ののってもらい助かっている コロナ禍ということもあり、こちらが希望すれば対応してもらっている	コロナ禍で母子通園(参観・懇談)が実施できていないが、個別に見学や面談の申し込みを受け付けている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	15	9	21	コロナ禍で実施は出来ていない コロナもあり、母子通園もないので、同じ園の方しかわからない 感染予防のため控えられているのでは… 他の保護者の方と話してみたい	コロナ禍でイベントが企画できずに過ぎてきたが、再開できるように内容を検討し、保護者同士が出来る機会を作っていきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	57				相談することで、すぐに対応してくれたり、プランの中に取り入れてくれている 丁寧に対応していただいている	相談等の申し入れがあった際は、迅速に対応できるように今後も務めていきたい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	51	3		3	定期的に連絡を取り合うことで、意向なども取り入れてくれている ケガや汚れ等があった際に、都度連絡がもらえて助かっている	お子さんの大きな変化や成長があった時に毎月のお便りで発信したり、メールや電話などでお知らせするようにしている。保護者との連絡、伝達をさらに密に行っていきたい。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	51	4		2	紙(おたより)で活動の様子を知ることが出来ている お便りの写真がたくさんでありたい。 自己評価の結果とは？	毎月お便りを発行し、写真等を使って活動内容を知らせている。自己評価については、ホームページに掲載している。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	53	2		2	十分とはいかなくてもある程度の配慮はしてもらっている	個人情報の取り扱いについては、職員で徹底しているが、今後も事業所間や相談支援員との情報共有の際は、保護者の承諾のもと十分配慮していく。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	47	3		7	活動の中で訓練を行ってもらえているので、子供たちも理解できている	策定したマニュアルに沿って契約の際に緊急時の対応や地震発生時の対応などについて説明をしている。避難訓練については、火事、地震、風災害などを想定して実施している。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	52	1		4		子どもたちを対象にした避難訓練は毎月実施している。職員を対象としてADEや心肺蘇生法についての講習や実際に消防署に通報する通報訓練をそれぞれ年1回実施している。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	51	6			お迎え時に楽しみに行くけどまではまだ出来ていないが、実際に行けば楽しんでいる様子とても楽しみにしています 前に、皆の前で先生の名前を言うのが苦手だと言っていたことがありました その日の気分によって違う 保育園を嫌がる日でも通所と伝えると通園も楽しみにしている はぐはぐから保育園に戻った時は、いつもニコニコしているようです 前と比べてとても成長していて、はぐはぐを楽しんでいる様子を家でも見かけます	送迎が迎えに行くとき気持ちの切り替えができなくて泣いてしまうお子さんも車内で切り替えることができ、笑顔で来所される様子がある。楽しく安心して過ごせる場所になるよう全職員で努めていきたい。
	23	事業所の支援に満足しているか	54	3			いつも安心してお願い出来ている	支援の質の向上のみならず、保護者への情報伝達・共有の手段も併せて改善を続けていく。

\*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。